



VOLVO CAR JAPAN

Press Release

2019年3月5日

ボルボ・カーズ、スピードの出し過ぎによる危険性を 喚起するため、全車に時速180キロまでの 速度制限を導入すると発表

本プレスリリースは、3月4日スウェーデン本社発、プレスリリースの翻訳版です

安全の分野で世界をリードするボルボ・カーズは、スピードの出し過ぎによる危険性について強く警告しており、2020年以降、すべてのボルボ車の最高速度を時速180キロに制限すると発表しました。

ボルボの「Vision 2020」では、2020年までに新しいボルボ車に搭乗中の事故における死亡者または重傷者をゼロにすることを目指しています。これは自動車業界で最も野心的な安全目標の一つです。しかしながらボルボは、技術面だけでは死亡者や重傷者をゼロにできないことを認識しており、ボルボ・カーズは今後、技術面のみならず、ドライバーの行動面にも焦点を当てていきます。

ボルボ・カーズによる研究では自動車による死亡事故や重傷事故を完全になくすという野心的な目標を実現するうえで、三つの課題、いわゆる「ギャップ」が存在していることを確認しています。自動車の速度超過がそのうちの大きな要因の一つです。

「ボルボは安全に関するリーダーです。今までも、そしてこれからも。」ボルボ・カーズ代表取締役社長兼 CEO のホーカン・サムエルソンはこのように述べ、さらに続けて、「当社の研究により、ボルボ車で死亡事故や重傷事故を無くすためにはどの部分にどんな問題があるかが明らかになりました。速度を制限することで全てを解決できるわけではありませんが、たとえ一つの命でも救うことができれば、それは価値があるといえます。」と語りました。

ボルボは最高速度制限とは別に、スマート・スピード・コントロールとジオフェンシング・テクノロジーをどのように組み合わせれば、将来、学校や病院の周辺での速度を自動的に制限できるかについても調査しています。

さらにサムエルソンは、「ドライバーの行動を変える技術を自動車に搭載することで、スピードの出し過ぎ、飲酒や薬物使用による酩酊、注意散漫といった問題に取り組む権利や義務が自動車メーカーにあるのかどうかについて議論を進めたいと思います。ボルボがこの問いに対する明確な答えを持っているわけではありませんが、議論の中でリーダーシップを取り、先駆者になるべきだと信じています。」と語りました。

報道関係お問い合わせ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報部

Email : vcjpr@volvocars.com TEL : 03-5404-8611(代表)

スピードの出し過ぎに関する問題は、一定の速度を超えたとき、車両の安全装備やクラッシュブル構造等では事故の際の死亡や重傷という事態を十分に対処しきれないという点にあります。そのため、ほとんどの西欧諸国で制限速度が設けられています。それにもかかわらずスピードの出し過ぎという問題は重大であり、交通事故による死者数の最も一般的な要因の一つとなっています。

毎年、何百万人もの人々がスピード違反をしており、米国の国家道路交通安全局(National Highway and Traffic Safety Administration)の交通事故データによると、2017年の米国における全交通死亡事故数の25パーセントが速度超過によるものです。

ボルボ・カーズの安全分野の第一人者であるヤン・イヴァーソンによると、人々は単純にスピードに関する危険性を認識していないと述べています。

「私たち人間は、誰もがヘビやクモ、高所の危険性を理解していますが、速度に関してはそれほど理解していません。」イヴァーソンはこのように語り、「我々は、今おかれている交通状況に対してあまりにもスピードを出し過ぎ、ドライバーとしての速度適応能力が不足しています。ドライバーに対し、より適切な行動をするよう支援し、スピードの出し過ぎが危険であることを人々に理解してもらうように手助けすべきです。」と続けました。

スピードに関する問題以外にも二つの問題が、「gaps toward zero(埋めるべきギャップ)」として挙げられます。スピードの出し過ぎと同じくらい明確な問題(そして同じくらい解決が難しい問題)として、**飲酒や薬物使用による酩酊**があります。世界中のほとんどの場所で、アルコールや薬物の影響下で運転することは違法ですが、それでも今日の交通事故による死亡や重傷の主な要因になっています。

もう一つの問題は、**注意散漫**です。ドライバーが自分の携帯電話に気を取られていたり、運転に完全に集中できていないことが死亡事故の大きな要因となっています。この問題は飲酒運転と同じくらい危険なことです。

ボルボ・カーズは、3月20日にスウェーデンのイエーテボリで開催される特別なセーフティ・イベントで、飲酒や薬物使用による酩酊や注意散漫の問題に対する提案を発表します。